

平成20年7月2日
国土交通省 東北地方整備局

平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した 天然ダム（河道閉塞）の湯ノ倉温泉地区の監視・ 観測の実施状況について

平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した天然ダム（河道閉塞）のうち、湯ノ倉温泉地区の水位情報及び天然ダム天端までの高さについては、既に公表しておりますが、7月1日に詳細な測量を実施した結果、下流側により高い地点があることが判明しました。（詳細は別紙1を参照願います。）

このため、7月2日6時現在、越流する危険があると考えられる水位まであと2.6mとなりますので、お知らせします。（詳細は別紙2を参照願います。）

今後、降雨や余震等に注意をはらいながら、引き続き、監視・観測体制に万全を図って参ります。

（発表記者会）宮城県政記者会、岩手県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

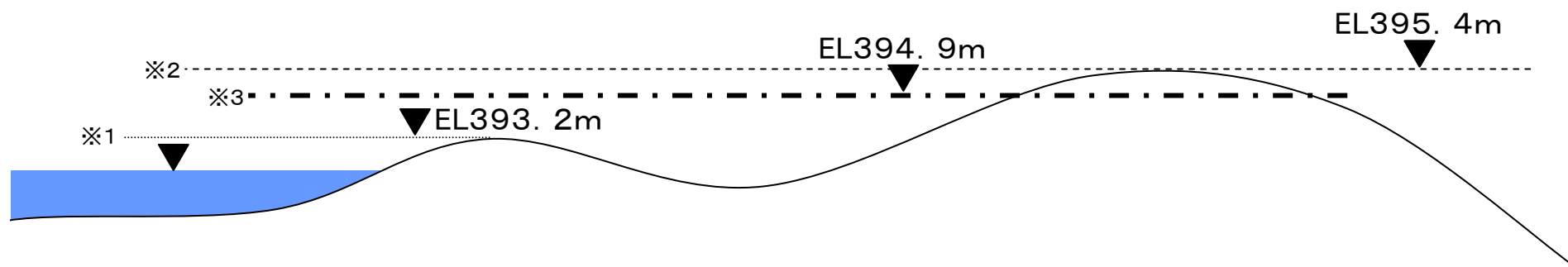
（問い合わせ先）

| | |
|-------------------|-----------------------------------|
| 東北地方整備局 河川部 河川調査官 | 久米 英輝（内3513） 夜間直通 022-261-7305 |
| 流域・水防調整官 | 平石 進（内3518） 夜間直通 022-227-6005 |

住所 仙台市青葉区二日町9-15

電話 022-225-2171（昼間）

湯ノ倉温泉地区における
「越流する危険があると考えられる水位」の考え方について
～7/1に実施した詳細な測量を受けた報告～



- ※1 6/30まで想定していた天端高(標高393.2m)
- ※2 7/1の詳細調査で判明した天端高(標高395.4m)
- ※3 天端付近の状況を踏まえ、越流する危険があると考えられる水位(標高394.9m)

湯ノ倉温泉地区の天然ダムの水位について(7/2 6:00現在)

